

# アラウンドヌーン・モーツァルト・コンサート

歌劇「コジ・ファン・トゥツテ」より

歌劇「フィガロの結婚」より



指揮 松田 義生                      演出 高田 正人

洗足学園音楽大学 声楽コース オペラ実習履修生

2021年7月12日(月) 13:00 開演 (12:30 開場)

洗足学園 前田ホール

△新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防ぐためのお願い

- ・マスク着用の徹底、こまめな手指消毒・手洗い・咳エチケットの励行にご協力ください。
- ・大声や対面での会話はお控えください。
- ・演奏者への声援はご遠慮いただき、拍手のみとしてください。
- ・休憩時、終演後はスタッフが扉を開けるまでお待ちいただき、空いているドアから混雑を避けて入退場してください。
- ・客席内やロビーでのご飲食はお控えください。
- ・出演者への面会はできません。出演者への花束・プレゼントもご遠慮ください。
- ・万一、集団感染の発生が明らかになった際は、保健所に入場者の情報を提供する場合がございます。

主催：洗足学園音楽大学・大学院

◇ プログラム ◇

第1部 オペラ実習Ⅱ／オペラ実習2

W.A.モーツァルト作曲 歌劇「コジ・ファン・トゥッテ」より

第1幕

No.13 Alla bella Despinetta

*Fiordiligi* 前川 乃慧 *Dorabella* 西 美穂 *Despina* 澤田 真里愛

*Ferrando* 勝又 康介 *Guglielmo* 宮城島 康 *Don alfonso* 氷見 健一郎

No.13 Alla bella Despinetta

*Fiordiligi* 二瓶 みづき *Dorabella* 稲葉 みのり *Despina* 澤田 真里愛

*Ferrando* 勝又 康介 *Guglielmo* 奥 大樹 *Don alfonso* 氷見 健一郎

No.18 Ah che tutta in un momento

*Fiordiligi* 國武 睦子 *Dorabella* 前川 乃慧 *Despina* 松添 あおい

*Ferrando* 勝又 康介 *Guglielmo* 宮城島 康 *Don alfonso* 氷見 健一郎

第2幕

No.31 Fate presto o cari amici

*Fiordiligi* 松本 明音 *Dorabella* 上原 愛美 *Despina* 畠井 美緒

*Ferrando* 勝又 康介 *Guglielmo* 奥 大樹 *Don alfonso* 氷見 健一郎

❁ 休憩 ❁

第2部 オペラ実習Ⅰ／オペラ実習1

W.A.モーツァルト作曲 歌劇「フィガロの結婚」より

第1幕

No.1 Cinque…dieci…～Cosa stai misurando,～Se a caso madama la note ti chiama

*Susanna* 石塚 紫音莉 *Figaro* 氷見 健一郎

No.5 Tutto ancor non ho perso:～Via resti servita, madama brillante

*Susanna* 石井 杏実 *Marcellina* 岡村 彬子

No.1 Cinque…dieci…～Cosa stai misurando,～Se a caso madama la note ti chiama

*Susanna* 立田 紗音理 *Figaro* 氷見 健一郎

No.5 Tutto ancor non ho perso:～Via resti servita, madama brillante

*Susanna* 井上 こころ *Marcellina* 岡村 彬子

No.7 Sortite, vil ministro～Cosa sento! Tosto andate,

*Susanna* 上本 杏子 *Basilio* 佐久間 涼平

*Conte* 宮城島 康 *Cherubino* 荒 理緒奈

第2幕

No.16 Tutto è il come il lasciai～Esci omai garzon malnato～Qui ascoso sarà

*Susanna* 岸 佳那子 *Contessa* 行場 結佳(前半) / 菅原 実華子(後半)

*Conte* 宮城島 康

第3幕

No.17 Signor…Cosa bramate ? ~Crudel! Perchè finora

*Susanna* 高岡 未侑      *Conte* 宮城島 康

No.17 Signor…Cosa bramate ? ~Crudel! Perchè finora

*Susanna* 福田 真桜      *Conte* 宮城島 康

No.21 Cosa mi narri, ~Che soave zeffiretto

*Susanna* 菅原 智里      *Contessa* 河村 未奈

第4幕

No.29 Perfida, e in quella forma ~Pian pianin le andrò più presso ~in poi verrò

*Susanna* 佐々木 遥      *Contessa* 奥山 雅子      *Cherubino* 荒 理緒奈

*Conte* 宮城島 康      *Figaro* 氷見 健一郎

Finale      *Contessa* Perdonò!

出演者全員

◇ プログラム ノート ◇

歌劇「コジ・ファン・トゥッテ」

No.13

恋人との突然の別れを悲しむフィオルデリージ、ドラベッラ姉妹。

そんな姉妹を慰めるため、ドン・アルフォンソが女中であるデスピーナを買収し味方につけ、フェランドとグリエルモを異国人に変装させ姉妹に紹介しようという芝居から演奏が始まります。

アルフォンソの独唱から始まり、異国人に扮した二人の青年の二重唱に移り変わり、デスピーナが加わり四重唱を奏でます。

ここに姉妹が加わり、コジ・ファン・トゥッテ内で初めて主要人物全員が揃い、それぞれが自分の心情を歌う六重唱を賑やかに奏でる、という曲です。

後半に出てくる六人での掛け合いは、一人一人歌詞も違い、感情がとても現れる部分でもあり見所です。

ぜひ注目してお聞きください。 （澤田、西、稲葉）

No.18

異邦人(扮装したフェランドとグリエルモ)に一度は口説かれたものの、恋人への気持ちは揺らぐことはなかったフィオルディリージ・ドラベッラ姉妹。

その後、嘆いている姉妹の元に先程の異邦人が現れ、二人の愛が得られないのならば死んでしまおうと、フェランドとグリエルモはヒ素を飲んだフリを装う。

毒を飲み、苦しげに悶え弱っていく彼らを見て可哀想に思ったフィオルディリージとドラベッラ。

そんな中でも、ドラベッラは異邦人に扮したグリエルモに僅かに興味を抱いてしまう。

そんな時、アルフォンソと医者(に扮した)デスピーナが戻り、異邦人の治療を始める。

治療が終わり、目を覚ましたフェランドとグリエルモは副作用により錯乱してしまったフリを装

い、フィオルディリージとドラベッラにキスを迫る。姉妹は憤慨し、彼らを再び拒絶したところで第1幕が閉じる。

終盤の六重唱では姉妹以外の4人が「怒りの炎はやがて愛の炎に変わる」と歌っており、そしてこのフィナーレを皮切りに姉妹はやがて異邦人に心を許してしまうのである。（前川）

### No31 曲目解説

フェランドとグリエルモ扮する男たちとフィオルディリージ、ドラベッラ姉妹はついに結婚式をあげることになった。

シーンは軽快な伴奏にのって、婚礼の用意を急がせるデスピーナの登場から始まる。

結婚式も半ば、結婚証書にサインしたところに、軍隊の帰還の音楽が鳴り響く。

女たちは恋人が帰ってくることに焦って、男たちを隠そうとする。

帰還したフリをした男たちは、証書に署名した姉妹を責める。

姉妹たちが縋りつき謝罪をしたところで、ネタバレをする。姉妹とデスピーナは騙された

ことに怒りを感じるが、アルフォンソに丸く収められ、姉妹たちは貞操と愛を守ること、

男たちは試すようなことはもうしないと誓う。

最後には6人の登場人物が声を合わせて歌い、幸福な雰囲気の中に大団圓を迎える。

（松本）



## 歌劇「フィガロの結婚」

### No.1・2

舞台は18世紀のスペイン、セヴィリア近郊のアルマヴィーヴァ伯爵の館。

フィガロとスザンナの結婚式当日の朝、フィガロは伯爵が下さるといふベッドが部屋に入るかどうかをみるため部屋の寸法を測っている。スザンナは自分で作った帽子が似合うかどうか鏡を見ている。

しかし、伯爵からいただいた部屋の便利さに喜ぶフィガロに対して、スザンナは不服そう。

スザンナは最近奥方に飽きた伯爵が、スザンナに色気を示しているばかりか、夫人との結婚を機に廃止を宣言した初夜権を復活させたいと企む下心に気づいているのである。

そんなことに気づかないフィガロは、「なぜ伯爵と伯爵夫人の部屋の間にある、この屋敷で1番良い部屋が嫌なのか」と疑問に思っている。

No.1では、幸せ絶頂の2人が、No.2ではスザンナの警告から音楽は一変。フィガロを遠くへ追いやる「ディンディン」という鈴の音や、伯爵がスザンナに迫ってくる「ドンドン」というドアのノック音が印象的である。さて、この後2人がこの窮地をどう乗り越えていくのか…。(石塚・立田)

### No.5

この作品でも有名な、喧嘩の二重唱。

スザンナと婚約を結んでいるフィガロを密かに狙うマルチェリーナと、それを警戒するスザンナ。

表向き礼儀正しい振る舞いをしつつも、お互い皮肉を言い合い喧嘩を始める。

スザンナをからかおうとマルチェリーナが喧嘩をしかけるが、スザンナも負けじと言い返す。つい口をついて出た「ばばあ！(Letà!）」という言葉に、マルチェリーナは激怒する。

お互いのふつふつとした怒りを表す3連符が伴奏で終始鳴り響き、またお互いの感情が高

まっていくとともに、皮肉を含んだそれぞれのメロディーが迫っていき、やがて重なり合う。喧嘩の勝敗の行方は果たして…。(井上・石井)

#### No.7

伯爵がフィガロとスザンナの結婚祝いに 2 人にプレゼントした部屋に、前場で登場していたケルビーノ、そしてスザンナを口説きにやってきた伯爵に続いて、伯爵家の音楽教師であるバジリオがやってきます。慌てて隠れるケルビーノと伯爵。なんの躊躇いもなく部屋に入るバジリオ。ケルビーノと伯爵が隠れていることも知らず、バジリオはケルビーノと伯爵夫人の間柄を話題に出します。それを聞いた伯爵は思わず姿を現してバジリオを問い詰めます。バジリオと伯爵の会話を困惑しながら呆然と聞いているスザンナ。バジリオ、スザンナ、伯爵、3 人の全く違った心情が描かれた 3 重唱です。 (上本)

#### No.16

手紙の密告に疑いを持った伯爵は夫人の部屋にやってくる。うろたえる夫人の様子から、伯爵は衣装部屋に誰かいるのではないかと疑う。中にいるのはスザンナだという夫人の言葉を信じず、伯爵は夫人を連れて扉をこじ開けるための道具を取りに行く。道具を持って戻ってくる 2 人。窮地に立たされた夫人はついにケルビーノがいることを明かしてしまう。伯爵は激怒し夫人を責め立てるが、いざ衣装部屋を開けると現れたのはスザンナ。実は 2 人が部屋を出た隙にスザンナとケルビーノが入れ替わり、ケルビーノは窓から脱出していた。そこから立場は逆転し、あらぬ疑いをかけた伯爵は夫人に許しを乞うのであった。 (行場)

#### No.17

ケルビーノを女装させ、スザンナの代わりに逢引させることに失敗した伯爵夫人は、ケルビーノの代わりに自分自身がスザンナに変装して逢引に行くと言い出す。そしてスザンナに伯爵と逢引の約



束をするように命じる。スザンナは戸惑うが伯爵夫人の願いなので断りきれず、勇気を出して伯爵のもとに行く。伯爵様のお望みは私の望みだと言いつい逢引の約束をする。スザンナの演技にすっかり伯爵は騙されてしまい大喜び。その伯爵のあまりの喜びようにスザンナも少し後ろめたさを感じてしまうが、伯爵夫人のためだと思い一生懸命演技する。来る？来ない？のやり取りが紛らわしいところでありながらそこが見どころのデュエット。(高岡)

## No.21

裁判の過程で、フィガロがマルチェリーナの息子であり、バルトロが父親であることが判明。バルトロとマルチェリーナ、フィガロとスザンナの2組の結婚式が行われることになる。一方伯爵は、懲りずにスザンナを誘惑しようとしている。そんな伯爵を懲らしめようと伯爵夫人は、伯爵を呼び出す手紙をスザンナに書かせる。伯爵夫人がスザンナと衣装を交換して会い、伯爵を懲らしめるという罠である。スザンナは書くことを渋るが、伯爵夫人は「責任はすべて私取るから」といい、伯爵夫人が言うままにスザンナは手紙を書く。手紙をピンで封印し、返事の代わりにこのピンを返してくれるようにしたため。

(菅原智里)

## No.29

スザンナと伯爵夫人は伯爵の不貞を押さえるため衣装を交換し、手紙に書いた裏庭で逢引し、その現場を押さえようと企みます。一方フィガロはスザンナが逢引きの手紙を渡したと知り、スザンナ浮気を暴いてやろうと裏庭へやってきます。そして、伯爵はスザンナからの手紙を受け取り、秘かに会えるのを楽しみに裏庭へやってきます。そんな中、スザンナの服を着た伯爵夫人をスザンナと勘違いして、ケルビーノがやってきます。

計画が台無しになってしまうかヒヤヒヤさせるナンバーです。(荒)

◇ プロフィール ◇

指揮 松田 義生



神奈川県出身。高校卒業後、単身オーストリア、ウィーンに渡り、フランツ・シューベルト音楽院に留学。ピアノ、楽曲分析（歴史的演奏習慣）をサラ・マリア・サージェント女史、指揮法をペーター・イレーニ、エルヴィン・アッチェル、ユーリ・シモノフの各氏に師事。

2000年、オーストリアのクラゲンフルトにてミヒャエル・ラドゥレスク氏主催のバッハアカデミーに参加、バッハのカンタータ等の歴史的演奏解釈について学びディプロマを取得。2008年、ハンガリーのブダペストで行われた国際指揮マスタークラスにて優秀者に選ばれ、終了演奏会にて、リスト・ヴァーグナ管弦楽団を指揮。2009年には、ドイツのウルム、バートライヒェンハルでの演奏会、現地のオーケストラとの日独合同演奏会を指揮し、地元の新聞等でも取り上げられ、好評を博する。

帰国後は、横浜シティオペラをはじめ、藤原歌劇団、日本オペラ協会、日生劇場、東京室内歌劇場、藤沢市民オペラなど、多数のオペラ団体に指揮者、音楽スタッフとして参加しているほか、各地のアマチュアオーケストラや合唱団の指揮、指導をおこなっている。

洗足学園音楽大学非常勤講師。



◇ 出演者 ◇

洗足学園音楽大学声楽コース オペラ実習履修者

【オペラ実習Ⅱ／オペラ実習2】

稲葉 みのり      上原 愛美      國武 睦子      澤田 真里愛      西 美穂  
二瓶 みづき      畠井 美緒      松添 あおい      松本 明音      前川 乃慧  
奥 大樹

【オペラ実習Ⅰ／オペラ実習1】

荒 理緒奈      石井 杏実      石塚 紫音莉      井上 ころろ      上本 杏子  
奥山 雅子      河村 未奈      岸 佳那子      行場 結佳      佐々木 遥  
菅原 智里      菅原 実華子      高岡 未侑      立田 紗音理      福田 真桜  
佐久間 涼平

【演奏補助員】

岡村 彬子      勝又 康介      氷見 健一郎      宮城島 康

【指揮】      松田 義生

【演出】      高田 正人

【声楽指導】      加未 徹      境 信博      佐藤 亜希子      塩田 美奈子      高田 正人  
武田 直之      鳥木 弥生      藤井 麻美      水島 範子      森谷 真理

【ピアノ】      伊藤 美佐      井向 唯      高田 絢子      高瀬さおり

【スタッフ】      ステージマネージャー      穂苺 竹洋

助手      齋藤 莉愛瑠      花岡 美紀      前田 純吾

アカデミック・コーディネーター      神谷 明美